

# 平成25年度 病害虫発生予察情報 注意報 第1号

平成25年5月10日  
発表：福島県病害虫防除所

- 1 対象作物：モモ
- 2 病害虫：モモせん孔細菌病
- 3 対象地域：中通り
- 4 発生量：多い

## 予報の根拠

- (1) 5月上旬の調査において福島地域、伊達地域ともに春型枝病斑の発生ほ場割合は平年及び多発した前年より高かった(図1)。また、中通りの他地域でも発生が確認された。
- (2) 前年秋季の発病葉率が伊達地域で高かったことから(図2)越冬菌密度は高く、今後の春型枝病斑の発生量は増加すると考えられる。
- (3) 春型枝病斑の発生量が多いと新梢葉の発病も多くなるので、今後の本病の発生には十分注意する必要がある。

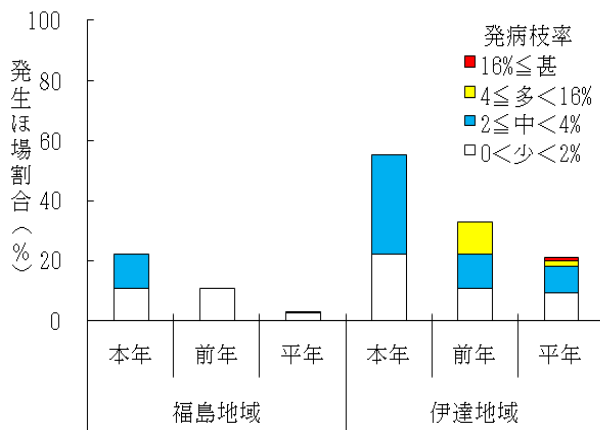


図1 春型枝病斑の発生状況(5月上旬)

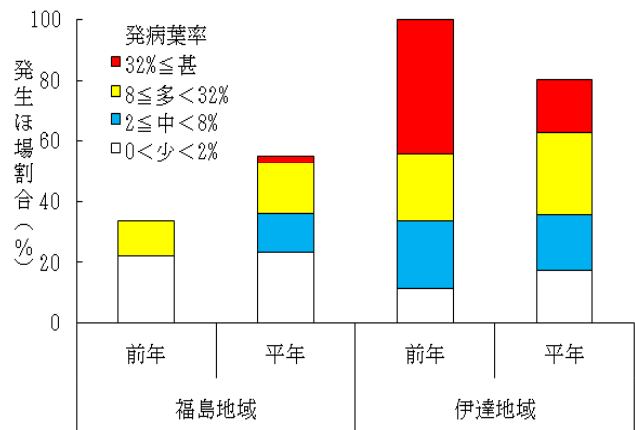


図2 前年秋季の新梢葉における発生状況(9月下旬)

## 防除対策

### (1) 耕種的防除

春型枝病斑は葉や果実への伝染源となるので、見つけしだい除去して適切に処分する。例年果実被害が多い場合には、6月15日頃までに袋かけを行う。

### (2) 薬剤防除

薬剤防除は、地方の防除暦を参考にして実施する。その際は薬剤の使用濃度、収穫前日数に十分注意する。

また、同一薬剤の連用は耐性菌の出現などのリスクがあるので、連用せずにローテーションで使用する。

●情報内容への質問や要望は、福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課(病害虫防除所)までご連絡ください。

TEL 024-958-1709 FAX 024-958-1727